

高校時代の学び

高校時代は、将来国際的観点から日本社会に有益な活動をするための土台作りとして、外国語と国際教養に軸足を置いて勉学に励んでいました。英語や欧米諸国を中心とした海外の文化について触れることができた経験は自分にとって有意義だった一方で、日本を取り囲むアジア諸国についての理解は比較的浅かったこともあり、在学中に台湾への留学を決意しました。

台湾での留学生活

国立台湾大学の社会学部に在籍し、学業面では社会学の基礎と台湾社会について学ぶと同時に、東亜4国(日中韓台)の政治経済社会の歴史と発展について専門的に学習しました。地理的距離が近い国々が、各々の発展経路を歩んだ歴史、及びその過程で発生した相互作用について体系的に学習できた経験は、現在の活動にも大きく貢献しています。

また、課外活動では日台学生交流会と ICL(International Companions for Learning)に参加し、台湾の文化と歴史、及び日本との関係について理解を深めました。台湾原住民の文化が色濃く残る地域との交流を通して、日本人という立場から難しい局面に直面することはありながらも、人々の生活とその根底に遍く精神に触れることができた経験は、台湾留学での貴重な学びであり、良い思い出でもあります。



現在の活動

現在は外資系のコンサルティングファームに勤めています。日本企業に対して、ファームの強みである経営戦略と会計分野のコンサルテーションを提供する傍ら、Public Services という部署の特色から中央省庁を中心とした官公庁をクライアントに、産学官連携促進による経済社会発展施策の策定と実行に従事しています。

国際情報生へのメッセージ

日々の生活を大いに楽しんでください。高校生活を過ごす中で様々な成功体験や、時に想定した結果にならない事もあると思いますが、いずれにしても進む先々には自分のためになるドラマとセレンディピティがあります。それらを大いに享受することが、高校生活に華を添える一つの要素なのではないのかなと私は思います。